

沖特研 第37号
令和4年3月8日

沖縄県教育庁県立学校教育課 課長 殿
県立総合教育センター 所長 殿
各教育事務所 所長 殿
小・中学校特別支援学級・通級指導教室設置校 校長 殿
県立特別支援学校 校長 殿

沖縄県特別支援教育研究会
会長 大城 政之
(公印省略)

令和5年度以降の研究大会における分科会テーマの再編について

時下、貴殿におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より、本研究会へのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本研究会が毎年開催している研究大会の分科会について、今次の学習指導要領をはじめとする教育情勢を踏まえた分科会テーマの見直しが必要となっております。これについて本研究会では、昨年より協議を重ねて参りましたが先日の評議員会において決議に至り、下記の通り再編することとなりましたので、お知らせ致します。

年度末のご多忙の折とは存じますが、貴管下の職員へご周知下さいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 見直しの理由

- 今次の学習指導要領等により、知的障害教育において教科指導のより一層の充実が求められていること
- 現在の分科会テーマは、各教科等を合わせた指導が基本となっており、教育情勢や学校現場のニーズに合わせた見直しが長らく行われていないこと

2. 変更の期日

令和5年度 第61回研究大会より変更する

3. 再編の内容

別紙(①~④)をご参照下さい

4. そのほか

本研究会ホームページにも資料を掲載いたします



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和3・4年度事務局
事務局長 山口飛
会計 廣渡善治
庶務 柴引瑞乃

《問い合わせ》

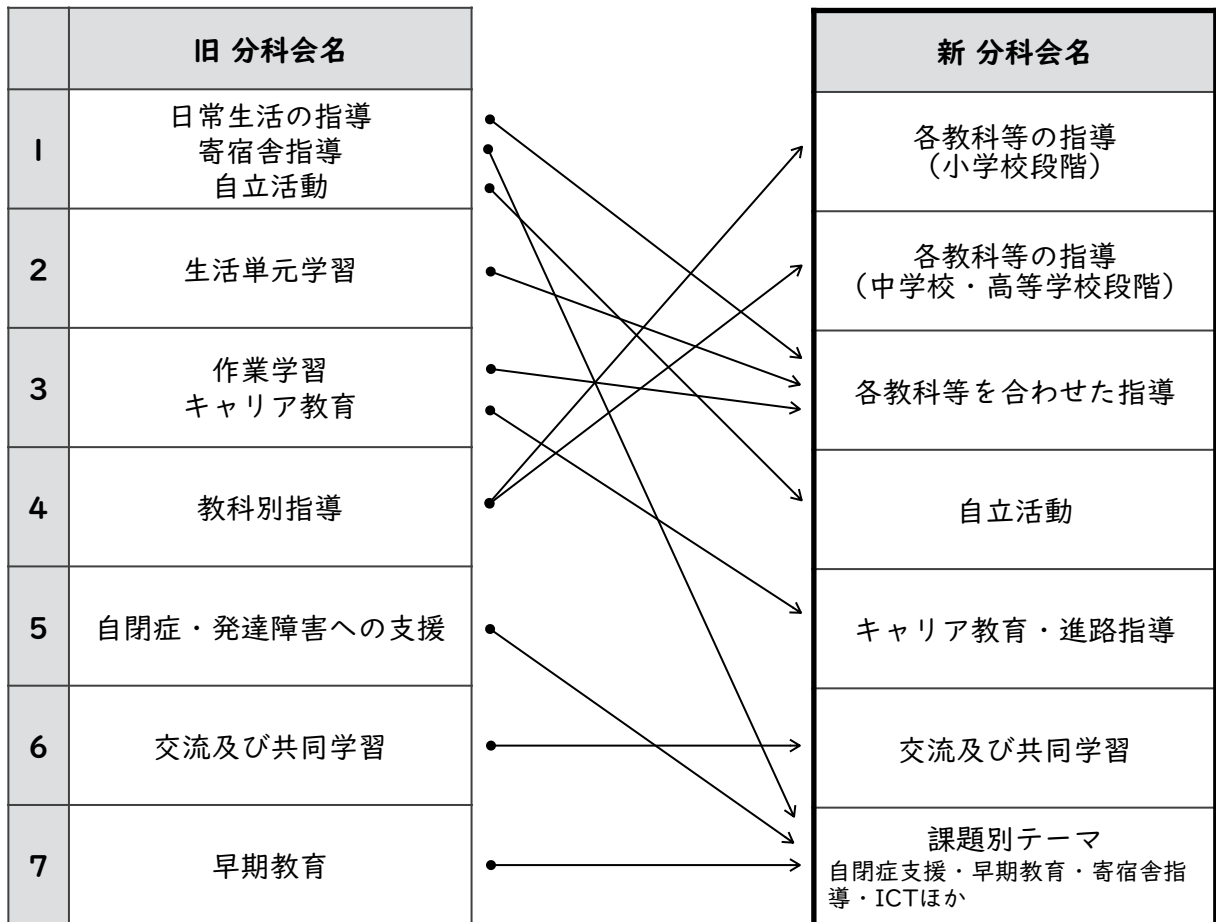
TEL: 098-877-4941
FAX: 098-876-4148
MAIL: okitokuken@as.open.ed.jp
HP: <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp> →



分科会テーマの再編について

見直しの理由

- ・ 今次の学習指導要領等により、知的障害教育において教科指導のより一層の充実が求められていること
- ・ 現在の分科会テーマは、各教科等を合わせた指導が基本となっており、教育情勢や学校現場のニーズに合わせた見直しが長らく行われていないこと



再編の内容

- ・ **令和5年度から**上記のテーマへ変更する
- ・ 日常生活の指導・生活単元学習・作業学習については、「各教科等を合わせた指導」として一元化する
- ・ 教科別指導は「各教科等の指導」として、「小学校段階（6年間）」および「中学校・高等学校段階（6年間）」と分けて置く
- ・ 自立活動と交流及び共同学習は、独立して置く
- ・ キャリア教育は「キャリア教育・進路指導」として置く
- ・ 沖縄県情緒障害教育研究会の独立を踏まえ、自閉症・発達障害への支援は「自閉症（自閉的傾向を含む）支援」と変更する
- ・ 寄宿舎指導と早期教育は限られた会員数・設置学校数の中で提案の頻度が高いことから、分科会のテーマとはしない
- ・ 新たに「課題別テーマ」として、自閉症支援・早期教育・寄宿舎指導・ICTほかから事務局がその時々^の教育的課題に沿ってテーマを設定できる分科会を置く

分科会提案割当の一部変更

【旧案】

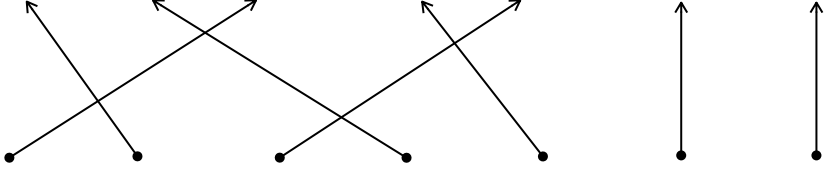
分科会名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	第51回	第52回	第53回	第54回
1 日常生活の指導・寄宿舎指導・自立活動	島尻特支	大平特支	みらい支援	西崎特支
	国頭地区小学校	浦添地区小学校	那覇地区中学校	八重山地区小学校
2 生活単元学習	大平特支	はなさき支援	島尻特支	大平特支
	中頭地区小学校	宮古地区小学校	中頭地区小学校	国頭地区小学校
3 作業学習・キャリア教育	名護特支	高等特支	はなさき支援	中部農林高支
	八重山地区中学校	中頭地区中学校	八重山地区中学校	那覇地区中学校
4 教科別指導	宮古特支	西崎特支	大平特支	高等特支
	中頭地区中学校	国頭地区中学校	宮古地区中学校	那覇地区小学校
5 自閉症・発達障害への支援	美咲特支	美咲特支	島尻特支	名護特支
	島尻地区中学校	中頭地区小学校	那覇地区小学校	中頭地区小学校
6 交流および共同学習	高等特支	八重山特支	南風原高支	みらい支援
	浦添地区小学校	島尻地区小学校	国頭地区小学校	中頭地区中学校
7 早期教育	西崎特支	名護特支	八重山特支	島尻特支
	事務局が幼稚園・保育園へ依頼			
事務局	名護特支		美咲特支	

【変更内容】

- ・割り当てられたテーマについて最小限の変更となるよう、以上のように並び替えをする
- ・教科別指導について、小学校段階が小学校、中学校・高等学校段階が中学校に当たるとなるよう、同年度の提案者枠で入れ替える
- ・課題別テーマの1枠については、当該年度のテーマに沿って依頼するものとする
- ・令和8年度までの課題別テーマについては、すでに担当が決まっている学校（西崎・名護・八重山・島尻特支）と相談の上、前年度までに事務局が決定する
- ・令和9年度以降の課題別テーマの1枠は当該年度の事務局が担い（令和8年度まではすでに各支部・研究会および各特別支援学校に均等に割り振っているため）、もう1枠は事務局が課題に応じて依頼するものとする

【新案】

分科会名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	第51回	第52回	第53回	第54回
各教科等の指導（小学校段階）	大平特支	はなさき支援	島尻特支	大平特支
	中頭地区小学校	宮古地区小学校	中頭地区小学校	国頭地区小学校
各教科等の指導（中学校・高等学校段階）	宮古特支	西崎特支	大平特支	高等特支
	中頭地区中学校	国頭地区中学校	宮古地区中学校	中頭地区中学校
各教科等を含めた指導	島尻特支	大平特支	みらい支援	西崎特支
	国頭地区小学校	浦添地区小学校	那覇地区中学校	八重山地区小学校
自立活動	美咲特支	美咲特支	島尻特支	名護特支
	島尻地区中学校	中頭地区小学校	那覇地区小学校	中頭地区小学校
キャリア教育・進路指導	名護特支	高等特支	はなさき支援	中部農林高支
	八重山地区中学校	中頭地区中学校	八重山地区中学校	那覇地区中学校
交流及び共同学習	高等特支	八重山特支	南風原高支	みらい支援
	浦添地区小学校	島尻地区小学校	国頭地区小学校	那覇地区小学校
課題別テーマ <small>自閉症支援・早期教育・寄宿舎指導・ICTほか</small>	西崎特支	名護特支	八重山特支	島尻特支
	事務局が課題に応じて依頼			
事務局	名護特支		美咲特支	



特別支援学校幼稚部へのアンケート結果

アンケートの依頼内容

沖特研は、本県において特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児児童生徒の教育の発展と実践研究の推進に寄与することを目的とした研究会です。会員は幼稚部の先生方を含む、県内すべての知的障害学級担当の教員となっています。

毎年12月には事務局校を会場に研究大会を開催し、研究授業や記念講演などを実施しています。研究大会には7つの分科会があり、その中には幼稚部教育を主なテーマとした「早期教育」の分科会があります。今年度、研究会の運営改革の一環として、以下の内容で分科会再編を検討しているところです。

- ・今年度で単独の分科会としての「早期教育」は廃止する
- ・令和5年度以降は「早期教育」を分科会「課題別テーマ」に統合し、事務局の裁量で今後もテーマとして取り上げることができるようにする

その主な理由は以下の通りです。

- ・幼稚部が設置されている学校が少数のため、短い間隔で提案（発表）にあたること

ただ、この他にも事務局前任校から引き継いだ内容として、以下の事由があり、判断を悩んでいるところです。

- ・幼稚部設置校は全国的に珍しく、本県の特別支援教育の特徴でもあること
- ・幼稚部の先生方が情報交換をする貴重な機会となっていること

事務局としては今後の教育要領・学習指導要領によって、知的障害教育において教科指導の充実がより一層求められていることを受け、「早期教育」を含む全ての分科会の再編を考えているところです。そこで、幼稚部の先生方から率直なご意見を伺たく、このような機会を設けていただきました。分科会の改訂案について詳細は添付の資料の通りです。

アンケートの概要

期間：令和3年9月30日(木)～10月11日(月)

対象：知的障害特別支援学校 幼稚部6校

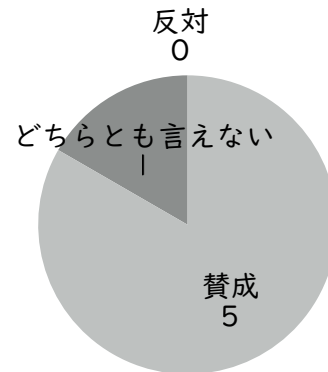
方法：Microsoft Forms

各校代表者が入力

回収：6件（回収率100%）

処理：匿名

分科会再編について



質問・懸念事項など

- ・特にありません。幼稚部同士の情報交換の場を設けているので、分科会の「早期教育」は廃止してもいいかなと思いました。
- ・事務局の判断に同意します。
- ・課題別テーマとなるとこれまでより幅が広がり、様々な視点からの実践報告があがってくるのでいいと思います。
- ・早期教育が「課題別テーマ」となることで、何年かに一度また発表の割り振りがあるのか？これまでではひとつの分科会として位置づけられていたが、毎年ではなくなることで発表の題材がその都度準備できるのか気になる。
→資料の中で「課題別テーマ」に添えて書いているキーワードはあくまで例として挙げたものです。従って、これらが順番に設定される訳ではなく、事務局校となった学校がその時々々の教育課題を取り上げたり、学校としての独自の取り組みを紹介する場としてこの分科会を活用できればと考えています。
- ・幼稚部としての情報交換の場は、入試に向けた集まりなど沖特研以外にもある。また今年度からはTeams上での情報交換が密にできるようになったので、これらが沖特研分科会を代替する機会となると思う。
- ・少ない人数の幼稚部で毎年発表を輪番で回していくことには無理があると感じている。
- ・昨年度から幼稚部職員が1名のため（その前3年は在籍見なし）もし今後、発表校になった場合、職員の人件変動にもよりますが負担が大きく、小学部の協力が必要になると感じました。ただ、文章の中にあっただよように、情報交換の場としては貴重なので率直のところ賛成反対どちらとも言えません。

分科会テーマ再編についてのアンケート結果

アンケートの概要

期間：令和4年1月12日(水)～2月18日(金)

対象：県立特別支援学校校長、小・中学校特別支援学級設置校校長、沖特研役員各位

方法：Microsoft Forms（任意）

各地区・研究会および各校代表者が入力

回収：4件

処理：匿名

内容と回答

- 提案通りでよろしいです。
 - ご意見をありがとうございます。
- 本校評議員（校長、教頭、研修主任）で話し合った結果、「承認しない」という回答になりました。理由は、①「九特連において、分科会テーマの変更が行われていない」、②「全特連において、今年度の分科会テーマでは『教科別の指導』と『各教科等合わせた指導』のいずれも同数（2つ）の分科会が設定されている」の2点です。
- 個人的な考えになりますが、提案理由に記載されている「教科別指導が重視されている」ということに少し違和感を感じました（「別」ではなく、教科指導が重視、ならわかります）。学びの連続性や学習保障等の観点から教科指導が重視されているのは理解しているつもりですし、教科指導は子どもたちの考え方を育成する上でも絶対必要なことであるとも思います。大事なのは指導形態に関わらず、教科指導を確実に実施・評価・記録することで、「教科別の指導」はあくまでも手段であって目的ではないと考えています。
- 質問が1点あります。「教科別の指導」に完全移行している学校が「各教科等を合わせた指導」の提案になったときは、提案用に特別に「各教科等を合わせた指導」を実施することが望ましいのでしょうか？
- 長々とすみません。
 - 現在、九特連においても分科会テーマの変更を検討中です。ただ全特連では、分科会テーマの設定が毎年開催県に委ねられているため、テーマを整合させることは難しいと考えます。
 - ご指摘の通り、求められているのは一貫性・系統性をもって「各教科の学習をどう保障していくか？」であり、これが本県における喫緊の課題だと思えます。したがって研究会として本県の特別支援教育全体に寄与するため、今後は従前のように「各教科等を合わせた指導」を基本とするのではなく、「各教科の指導」として特にその指導のノウハウを蓄積していく必要があります。以上のことから分科会でのバランスを鑑みて、現行の「教科別指導1：合わせた指導3」から「教科別指導2：合わせた指導1：自立活動1」へと、分科会を再編成すべきと考えます。
 - 教科別の指導と各教科等を合わせた指導が混在する本県の実態を踏まえ、ご質問にある「提案用に特別に『各教科等を合わせた指導』を実施すること」がないよう、変更後の分科会テーマを「教科別指導」ではなく「各教科等の指導」と訂正いたします。
- 「第1・第2分科会」を「小～高（小学校・小学部）（中学校・中学部）（高等部）」でまとめるのはどうか。教科別指導の系統性が見えるのではないか。「第3分科会 各教科を合わせた指導」については、今後の持ち方について考えてもよいのではないか。
- 「第7分科会 課題別テーマ」は事務局がテーマを指定するのか、担当する学校がテーマを選択する（自由参加型）のか。具体的にどのようなものにするか、決めた方がよい。また、これまでの「寄宿舎指導」や「早期教育」も大事にしたいので「項」として残して欲しい。
 - 第2回評議員会でのご指摘を踏まえて、改訂案では「第1分科会 各教科の指導（小学校段階）」と「第2分科会 各教科の指導（中学校・高等学校段階）」としています。各6年間の期間に分け、その系統性がみれる分科会の構成にしたいと考えます。
 - 議題②-1の資料にある通り「事務局がその時々の教育的課題に沿ってテーマを設定できる分科会を置く」ことと致します。そのほか詳細については、議題②-2の資料の備考をご参照ください。
 - 議題②-1のように「第7分科会 課題別テーマ」に項立てをして、自閉症支援、早期教育、寄宿舎指導を明記いたします。また、GIGAスクール構想の実現に向けて「ICT」を加えます。
- 本校は、今後、教科別指導へ移行していく予定です。それに伴って、実践報告ができない分科会があるのですが、それでも大丈夫ですか？ほかの学校が負担増にならないかが心配です。
 - 分科会の提案枠については、ご周知の通り前後10年間の実績を踏まえ均等に配分したものであるため、その点をご理解いただいた上で、各校発表のご準備をいただいています（同一年度内で担当の分科会を交代するなどの調整をすることはあります）。
 - 教科別の指導と各教科等を合わせた指導が混在する各校の実態を踏まえ、変更後の分科会テーマを「教科別指導」ではなく「各教科等の指導」と訂正いたします。